

株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
 (コード番号: 3612 東証プライム市場)
 問合せ先 副社長執行役員 中林 恵一
 (電話番号: IR・グループコミュニケーション室 03-6887-1300)

2024年2月期 (2023/4/1~2024/2/29)		上期							下期					通期			
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	1H	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term		
売上前年比		伸び率(%)															
国内小売売上		※1	105.4	105.7	105.0	111.5	111.1	99.6	106.3	102.1	107.0	101.4	※5	102.5	107.5	103.8	105.1
店舗売上		※2	106.0	105.5	105.0	113.6	113.0	100.4	107.2	100.7	107.2	101.4	101.1	106.2	103.0	105.1	
既存店売上		※3	109.7	109.2	108.4	118.2	118.2	102.7	110.9	103.7	110.6	104.8	※5	104.7	107.5	105.9	108.3
Eコマース売上		※4	102.8	106.3	105.2	103.6	104.3	96.6	103.2	108.5	106.4	101.6	※5	106.6	111.3	106.8	105.1
店舗数		店															
月末(期末)小売店舗数		※2	2,225	2,223	2,223	2,205	2,202	2,208	—	2,210	2,215	2,218	2,184	2,184	—	—	
出店			11	0	1	2	4	11	29	4	6	4	0	10	24	53	
退店			10	2	1	20	13	5	51	2	1	1	34	20	58	109	
M&A			0	0	0	0	6	0	6	0	0	0	0	10	10	16	
既存店対象店舗数		※3	2,086	2,094	2,091	2,067	2,049	2,048	—	2,052	2,056	2,062	※5	2,022	1,998	—	—

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。また、通期の列においては、当月初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみに限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております(ただし、緊急事態宣言に伴う臨時休業店や営業時短店は既存店の対象としております)。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、当社グループのブランド各社が自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。

※5 2024年1月の国内小売売上前年比が102.4%から102.5%へ、既存店売上前年比が104.4%から104.7%へ、Eコマース売上前年比が106.5%から106.6%へ、既存店対象店舗数が2,027から2,022へ修正されました。下線部をご確認ください。

(当月の概況)

休日数(前年差)

当月

+1

前年同月

△1

当月は、国内小売売上が前年同月比107.5%となり、内訳は店舗売上が同106.2%、Eコマース売上が同111.3%となりました。既存店売上は前年同月比107.5%でした。うるう年で営業日と休日数が各々1日多い影響を+6.0%程度と推計しております。なお、既存店売上はコロナ禍前の2020年2月に対して99.5%と概ね復元しました。また、これまで続けてきたコロナ禍前比較の開示も丸4年経過、収益水準もコロナ禍前を超える見込みが立ったので、今期(2024/2期)をもちまして終了いたします。当月の店舗販路は、今すぐ着られるニットやショートコートといったセール販売が引き続き好調でした。加えて、統計上でも稀な高気温などを背景として、春物商戦も本格的に始まり、セレモニー商材のピークも加わり、春物プロパーへ鮮明にシフトしました。EC販路も商品の売れ筋や売れ行きで店舗販路と似た傾向となりました。ただ、「インディヴィ」 「タケオキクチ」などの百貨店ブランドを中心に、最終セールで単価の張るコートやジャケットなどが活発に動いた点が目を引きました。アイテム別では、1月後半から動き出したセレモニーが月末にかけて山場を迎えた一方で、カジュアルなマウンテンパーカーやショートトレントコートといった春物アウターを代表する商品群が例年より早めに動き始めました。ブランド別では、「オペーグッドトリップ」 「THE SHOP TK」 「グローブ」に代表されるミドルローが引き続き牽引したほか、「ドレステリア」 「インディヴィ」 「デッサン」 「ラグタグ」を筆頭に多くのアパレルブランドが高い売上伸張率でした。

お知らせ: 2024年2月期決算発表(Tdnet及びホームページでの開示)は、4月3日(水)の予定です。

(参考: 前期実績)

2023年3月期 (2022/4/1~2023/3/31)		上期							下期					通期			
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	1H	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term	
売上前年比		伸び率(%)															
国内小売売上			127.7	149.8	112.2	116.9	130.2	136.0	127.5	131.8	117.6	128.7	141.7	152.4	105.2	126.8	127.1
店舗売上			124.1	156.2	108.3	111.9	128.0	133.6	125.1	126.8	112.5	124.3	134.4	149.6	105.2	122.6	123.7
既存店売上			119.5	150.7	109.3	109.4	120.0	118.0	119.8	111.9	100.8	107.7	120.5	134.3	112.4	112.6	115.6
Eコマース売上			144.7	127.7	130.1	140.1	138.8	145.3	137.4	158.0	141.2	149.5	168.7	161.4	105.3	144.9	141.5
店舗数		店															
月末(期末)小売店舗数			2,364	2,358	2,353	2,341	2,316	2,313	—	2,301	2,304	2,304	2,248	2,205	2,224	—	—
出店			14	1	0	2	3	10	30	4	5	1	0	0	22	32	62
退店			11	7	5	14	28	13	78	16	2	1	56	43	28	146	224
M&A			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25	25
既存店対象店舗数			1,569	1,577	1,577	1,568	1,539	1,533	—	1,541	1,550	1,553	1,497	1,460	2,083	—	—